

花粉症



松鶴堂トピックス 2011年 春号

うらら 春の麗の 隅田川 ……♪



日本を代表する作曲家 滝 廉太郎の「花」の歌詞ですが、うららという漢字(麗)を、ご存知だったでしょうか。麗には「空が晴れて、日が柔らかくのどかに照っているさま」「声などが晴れ晴れとして楽しそうなさま」という意味があります。一方 現代の春はどうでしょうか?とてもウララって気分ではないという花粉症に苦しめられている人が周りにいませんか?また誰もが、いつ発症してもおかしくない増加の一途をたどる国民病の**花粉症**について今回はお話ししたいと思います。

第2位 花粉症・アレルギー

体質を改善したいランキングの結果は1位 太りやすい 2位 花粉症・アレルギー 3位 肩こり 4位 冷え症 5位 便秘症 となっているそうですから、漢方の出番が多く期待できます。「出来る方法があるなら教えてほしい〜!」というお客様の内なる叫びが聞こえてきそうです。花粉症で辛い症状の代表には「鼻づまりで苦しい」、「集中力が落ちる」が上位をキープしています。

体質は治せるの? 治療最前線



花粉症の治療は抗アレルギー薬が中心となりますが、こちらは対処療法。根本的な治療はあるのでしょうか?レーザー治療は、鼻腔内の花粉が接触する粘膜にレーザーを当てて、反応を未然に防ぐ方法。効果は1年、2年位は続くそうです。もう一つ減感作療法とは、アレルギーとなる花粉エキスを少量ずつ注射して、体を花粉に慣れさせてアレルギーが起こらなくなる。効果が出るまで最低3~5年間、通院を続けるとスギ花粉症の7割の方効果があるとのこと。かなりの根気が必要ということになります。

隅田川から仏像が…!?



病院の漢方では、目もかゆく涙と鼻水がダラダラといった典型的な花粉症に小青竜湯しょうせいりゅうとうがよく用いられます。さらに炎症が強い場合、著名な漢方医になると、石膏せつこうを用いて小青竜湯加石膏しょうせいりゅうとうかせっこうを考えます、しかし医療用漢方には無いため、石膏の入っている五虎湯ごことうなどと一緒に処方して、効果をあげるそうです。薬局・薬店では、石膏が入った小青竜湯は、金竜こんりゅうという名前で販売されています。この金竜というネーミングは、販売元の東京 上野の漢方の老舗 建林松鶴堂たてばやししょうかくどうの近く、雷門の浅草寺せんそうじの山号、金龍山にあやかっただけでなく、浅草寺の縁起は、628年春に江戸浦(現在の隅田川)で仏像が引きあげられてからだそうです。

うらら つうきとう ……♪ 春の麗の 通気湯



麗澤通気湯れいたくつうきとうという晴れ晴れと、気が通じるイメージが湧く処方をアレンジした鼻療びりょうは現代に多い症状アレルギー性鼻炎、鼻づまり、ちくのう症などに効果・効能があります。鼻療が発売された大正時代から幅広い世代の方に喜ばれ、長く愛されるのは、麗澤通気湯から副作用に必要な麻黄まおう、甘草かんぞうを除き、健胃作用の人参にんじん、白朮びやくじゆつを加えているため安心して長く飲めるのが理由の1つでしょう。またアレルギー症状はストレスで悪化することがよく知られています、創業者は知っていたのか偶然なのか?人参、白朮に抗ストレス作用が判明しました。ストレス社会の現代にこそ、古くて新しい鼻療をおすすめします。



相談・購入はこちらまで
月~金 9時~17時 30
土 9時~17時 日祝休

大正8年創業漢方の
たてばやししょうかくどう
 株式会社 建林松鶴堂
漢方相談 03-3843-3831